

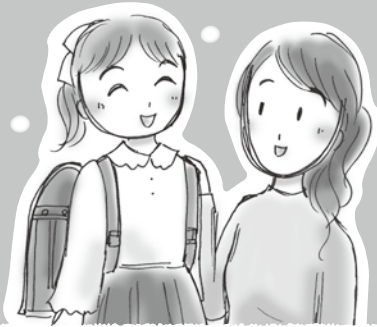
NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第159号
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2017年2月24日発行 46,370部



小学校入学まであと少し 嬉しいし、楽しいけれどちょっと不安… プレッシャーをかけるのと、 応援するのは違います

入学が近づいてきて、子どもの成長を喜び、小学校への期待が膨らんでいる時期だと思います。

新しいランドセルや、入学式の準備、4月以降の生活…。その反面、親も子どもも不安があるのも事実ですよね。

この時期、幼稚園や保育園では、園生活の集大成と考えられている「発表会」と「卒園式」の練習も盛んになっているのではないでしょうか。

良かれと思って、「小学校に行くんだから」「もうお兄ちゃんお姉ちゃんだよ」というような言葉を掛けつつ、応援していることもあるでしょうが、それがプレッシャーになると逆効果になりかねません。

小学校生活への期待を持てるような言葉がけは大切ですが、プレッシャーを与える言葉がけとは違います。

園と小学校の決定的な違いは、小学校は「勉強をするところ」が前提です。

集団の中で、社会性を学び、コミュニケーションを学ぶ。園では自分の思い通りになっていたことも、小学校になると自分の思い通りにならないことも、たくさん出てきます。

そういうところだということは、生活習慣の中で身に付けていきたいところです。

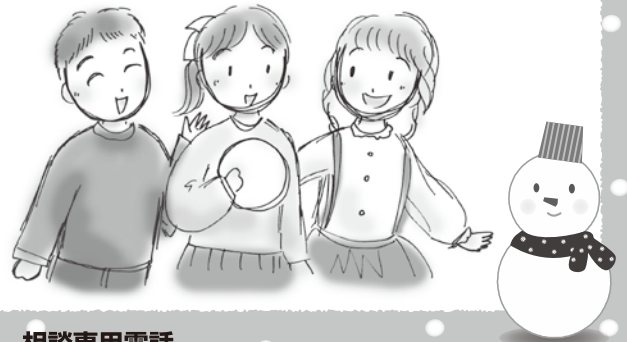
子どもが、不安に思うことは次の3つが多いと言われています。「勉強」、「トイレ」、「着替え」の3つです。

また、あまり不安に思わないことは、この2つ。「遊び」、「友達」です。

親の不安の多くは、「友達」「勉強」ではないでしょうか。特に友達は、親自身が人との繋がりや関わり之苦さや難しさを感じていることが多いため、子どもにそのまま当てはめてしまう傾向が強いように思います。

また親自身が、知り合いがいないという不安を持っていることも多くあります。

親の不安を子どもに反映させないことは大切です。親が不安なだけなのに、子どもに「勉強」や「お友達」のことでプレッシャーを与えていることもあります。親の不安は、親自身が解決できるように、情報交換やストレス解消しながら春を迎えたいと思います。



いろんなご相談は、障がい者生活支援センターあっとわんでお受けしています。子どもへの対応等も、一緒に考えお応えしていきたいと思えます。

相談専用電話

0568-91-5557(月～金 9:30-17:00)



いいね！
してね！

あっとわんの Facebook ページでイベントなどの様子をアップしています。

<http://www.facebook.com/npoatone>

あっとわんのホームページ

<http://npo-atone.jimdo.com>

代表理事 河野弓子のブログ <https://ameblo.jp/berinyan/>

東部子育てセンターのブログ <http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate>

ブログも
読んでね！

かわのゆみこ

家族やわたしが、新しい環境での生活が始まると、いろんなところで違和感というか、「なんだらう？」、「これでいいの？」「なんだかモヤモヤする」ということが増える場合があります。そんな時、多くの人はちよっとした不安を持つ事になり、なんとかその不安を解消するために、自分なりの解消法を使って行動します。それらは多くの場合「話す」ことで解消することが多いように感じています。自分の捉え方と、感じ方をそのまま相手に伝えることが強くなりがちです。▼そんな感覚で話をしていくと、事実と自分の感じ方の差が出てくる場合があります。単なる想像でしかないものが、事実になり替わってしまったり、何が「事実」で何が「想像の話」で、自分はどうだったのか？が良くわからない状況に陥ることもあります。そうならないためには、普段から「事実」にちゃんと目を向けていくことが大切だと感じています。▼さらに、誰かに自分のことを話しているうちに、相手との感情が膨らんでいき、事実と感情が曖昧になってくることもあります。たとえは、ちよっと大きめに話したり、相手にわかってもらいたいと思うあまり、話を少し盛って話をしていくうちに、「ちよっとした不安が」「大きな不安」にすり替わってしまうこともあります。

あっとわん春秋